

# いなみ町 議会だより

No.68  
2016.1



真妻山より新年のご来光

## 第4回定例会

議案審議	P2～P3
一般質問(4名登壇)	P4～P8
委員会報告	P9～P10
議会の行事	P11
文化協会(水墨画クラブ・百人一首に親しむ会)	P12

## 平成27年 第4回定例会（12月議会）

12月10日に開会し17日に閉会しました。上程議案31件（専決1件、条例6件、予算5件、選挙管理委員会委員の選挙1件、同補充員の選挙1件、人権擁護委員候補者の推薦1件、決算8件、その他6件、請願2件）を慎重に審議し、請願以外は全て可決しました。

### 議案審議

#### ●賃貸住宅建築促進 条例の一部改正議案 を可決

町有地の売却条件を加え、より民間活力を利用した賃貸住宅の建築を促進するための条例改正です。

本町の課題である住む場所の確保や町外転出の防止、町外、県外からの移住者の受け入れ環境を整え、人口減少の歯止めや更なる若者定住対策を図るものとして、改正する議案です。

### 質問

町有地を民間事業者に払い下げ、賃貸住宅を進めていかれると思うのですが、これは人口減少の歯止め、若者定住対策として取り組み、町、人、仕事の地域抑制の好環境を生み出す施策として一番大事であり、これを機に第二、第三と進めていただきたい。

#### 答弁（企画政策課長）

町、人、仕事創生というところでございます。町民の方々の色々な声をアンケート等で確

認しますと、働く場所は当然ですが、まず住む場所が必要というよううな声がありました。今回町有地の売却の条例を改正することによって賃貸住宅が整備されて、人口減少の歯止めをかけていきたいと思っております。

#### ●動産の購入契約を 可決

議案は新庁舎建設事業に伴う書類管理をする書庫及び手動式書架と据置物品棚を合わせて160台購入するものです。

指名競争入札による、町内業者3者を含む日高管内のオフィス用品販売業者6社を指名し、平成27年12月1日に入札され、翌12月2日に仮契約が締結されました。

内訳は、移動式書架134台、据置物品棚26台、契約金額5,086万8千円。

契約の相手方、日高郡印南町印南1850番地、有限会社山弁。

#### ●マイナンバー制度 に伴い、国保税及び 介護保険条例の一部 が改正されました。

主な内容は平成28成年1月からスタートするマイナンバー制度に伴い、国保税の減免や介護保険料の徴収猶予、減免の申請所の記載事項にマイナンバーを追加する、というものです。

### 質問

申請用紙と一緒にマイナンバーを記載しなくても各税の猶予や減免手続きはできるのではないですか。

#### 答弁（住民福祉課長）

原則は記載が求められています。

高齢者等が申請する場合は非常に多くなります。負担軽減を図るため職員が記載して差し支えない等、特例として認められています。

#### ●町の「過疎地域自立 促進計画の策定」を 可決

印南町が平成26年4月1日に「過疎地域」に指定されました。今回、施行期日が平成28年4月1日から5ヶ年の計画が提案され可決しました。主な内容は第1項、第10項で構成され各項目で「産業振興」、「生活

環境の整備」など各分野において取り組んでいく内容が示されています。

**質問**

この計画では平成32年4月1日時点の職員数を80名と示されていますが、確認します。

**答弁（総務課長）**

見直す可能性もあります。計画では、現在の行財政改革の中に職員適正化の数字を示しています。

**質問**

「産業の振興」の項目の中に観光分野に関する計画が示され、その中に「観光トイレの整備」をあげています。

印南、切目川、稲原、真妻にそれぞれトイレがあります。切目地区にはありません。

切目地区は熊野古道があり、人の往来が盛

んです。

切目地区にトイレの設置が必要ではありませんか。

**答弁（産業課長）**

印南町には3駅あり、印南、稲原両駅のトイレの改修がなされ、「どうして切目駅は？」との議論もあると考えますが、費用面で有利な補助金等の検討も必要です。

**平成27年度一般会計補正予算への質問**

**質問**

防災関連の費用で、保障費として2,249万9千円の減額計上となっています。

この予算は何の補償費の減額ですか。

**答弁（建設課長）**

本郷の避難路整備に關わる予算です。当初予算時には、まだ路線そのものも確定してお

らず、当時は建物の移転補償の問題がありました。したが、路線確定に沿って空き家が補償の対象になったからです。

**質問**

災害復旧費として2,536万3千円が計上されていますが、この内容について答弁を求めます。

**答弁（建設課長）**

9月に発生した秋雨前線の豪雨災害によるものです。内容は、畑4件、水路が4件、道路2件、ため池1件となっています。

**質問**

歳入の財産収入に關わり、不動産売却収入として249万4千円が計上されていますが、説明を求めます。

**答弁（総務課長）**

企業団地の中紀精機

地内の町道認定を廃止し、同社に売る費用です。相手方からの入金は、本年度中になる予定です。

**選挙管理委員会委員及び同補充員に次の8名を選びました。**

・選挙管理委員

- 楠本 勝彦氏
- 新田 豊氏
- 川口 主税氏
- 眞田 順氏

・補充員

- 庄田登紀美氏
- 門脇 泰憲氏
- 貴志まこと氏
- 塩路 薫氏

**人権擁護委員推薦者を承認しました。**

石橋 理代氏

**特別委員会に付託していた平成26年度決算（一般会計・特別会計8会計）を認定しました。**

**請願**

「後期高齢者医療制度の保険料軽減特例の継続に關する請願書」、「後期高齢者医療制度の保険料に關する請願書」の2件の請願は不採択となりました。

**「提案されたほかの議案」**

- ◆専決処分事項の承認（平成27年度印南町一般会計補正予算（第4号））
- ◆印南町消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- ◆権利の放棄
- ◆町道路線の廃止
- ◆字の区域の変更
- ◆平成27年度印南町特別会計補正予算4件（国民健康保険事業第3号・後期高齢者医療補正予算第2号・農業集落排水事業補正予算第2号・同和对策新築家屋貸付金補正予算第1号）





# こんな一般質問がありました



## 質問者

榎本 一平 / 5 ページ

## 質問内容

1. 環太平洋連携協定 (TPP) への認識を問う
2. 鳥獣害と住民生活について
3. 来年度の予算編成と教育環境について

## 質問者

井上 孝夫 / 7 ページ

## 質問内容

1. 防災のまちづくりについて
2. 福祉の充実
3. 教育の充実

## 質問者

岡本 庄三 / 6 ページ

## 質問内容

1. 地域おこし協力隊について
2. 印南町の行財政改革について

## 質問者

藤藪 利広 / 8 ページ

## 質問内容

1. 産業の振興について

# ここが聞きたい!



## 「TPPに調印するな」の声を地方から国へ

榎本 一平 議員

**質問** 日本、米国はTPPの大筋合意を発表しました。農林水産物では、2, 338品目のうち81%で関税撤廃となります。

**質問** 輸入農産物の増大は、県内及び町内の農業に大きな打撃を与えると考えます。野菜、果物は460品目の関税をほぼ撤廃します。町で生産が盛んなトマトやキュウリも含まれています。

**質問** TPPに對しどのような考えをもっていますか。

**答弁** 産業課長

当町においても、影響はないとは言えません。町の主要作物のトマト、豆、花等への影響は少ないと考えています。

**質問** TPPはまだ最終の決着はついていません。

「TPPの調印をするな!」と地方から国へ声を上げるべきではありませんか。

**答弁** 町長

国の責任において必要な政策を講じていただきたい。国に対しては、町としてはありません。

### 住民生活を脅かす鳥獣害の本格的な対策を

**質問** ある地域の人から

「敷地内にイノシシが入り、エサを求めて荒らされる。母親が高齢で、はち合わせになったら恐ろしい。対策はないものか。」との意見を聞きました。

住民生活を脅かす状況に対して、行政はどのように

うな認識をもっていますか。

**答弁** 産業課長

民家付近に現れる被害は、町でも非常に深刻な問題で、対策に困っています。

**質問** 「ここは1世帯しか家がなく、対応策の対象外であり、対応できるようにして欲しい。」との声です。

被害が広がるもとで新たな対応を考える時期に来ているのでは。

**答弁** 産業課長

防護柵事業は、農地を守るのが基本となっております。2戸以上の農地を囲む事業です。

JAと協力し、アンケートを実施しており、いろいろな意見も出てく

ると思います。要望を聞きながら、今後の対応をしていければと考えています。

### 新年度予算にクーラー設置の費用計上は?

**質問** 私は議会の質問で、小中学校の教室にクーラーを設置する様に求めてきました。

その観点は、近年の気温、湿度が過去に比べ大きく変化している事を具体的な数字で示し、平成27年度当初予算に「クーラー調査設計委託料」

3百万円が計上されました。平成28年度予算編成の中で、予算計上の計画はされていますか。

**答弁** 教育課長

今議会に提案している補正予算で有利な財源も活用し、印南中学校へのクーラー設置を前倒しで実施する予定です。平成28年度には、まず中学校1校、引き続き3校への整備を図っていきたい。

4小学校の対応は検討課題としています。







# 一般質問

## 地域おこし協力隊について

岡本 庄三 議員

### 質問

昨年5月に日本創生会議が発表した人口減少・超高齢社会に伴う削減可能性自治体に端を発し、国では昨年11月に、まち・ひと・

しごと創生法が制定されました。人口を増やす一端として「空き家対策」「イターンなど移住促進」また「地域おこし協力隊による地域の活性化・活動後の定住」も積極的に取り入れるべきだと思えます。

「地域おこし協力隊」は、都市から過疎地域に移住し、市町村が雇用し、1年～3年間、地域おこしの支援・農林水産業への従事・住民の生活支援などを行い、任期終了後、その地域への定住や定着を図る制度で、地域おこし協力隊関連への総務省からの

特別交付税による支援もあります。

平成27年度総務省の調査では任期終了後も約6割 557人の隊員が同じ地域に定住し、起業・就業・就農・その他結婚するなど若ものの人口増に繋がっているとの報告もあります。この制度を戦略的に活用している自治体もあります。

雇用期間が、最長3年間と限定されるため不安定な雇用また採用する隊員の考え方など、隊員及び自治体へのリスクなどもあるとも思いますが、自治体のしつかりした方針によりこの制度を有効に活用できれば相当な効果が期待できると思えます。

印南町では、この「地域おこし協力隊」の活用

を考えておりますか。



第2回地域おこし協力隊全国サミット

### 答弁

企画政策課長

移住推進協議会を12月7日付で和歌山県の市町村の一つとして認定されました。

特に県は移住・定住大作戦ということで優遇措置をとられているので、こういう制度運用を含めながら、印南町も加盟団体の一団体として積極的に進めていると

ころです。

長期総合計画、人口ビジョン、総合戦略などの議論を深めていく中でいろんなご意見をいただきながら、しつかりと方針を決定し、地域おこし協力隊の活用を検討を考えていきたい。

### 質問

課長が移住促進協議会の会長との話の中で、28年度2名程度入りたいという話があったとお聞きしているがどうですか。

### 答弁

企画政策課長

移住推進協議会の設立総会の中で、地域おこし協力隊のお話も出まして、町として導入については検討していきたいと。しかし平成28年度に2名を入れるという確定的なお話をしたつもりはありません。



# ここが聞きたい!



## マニユフェスト「福祉の充実」を問う

井上 孝夫 議員

**質問** 高齢化社会に対応した介護予防の取り組みをお聞き致します。

**答弁** 住民福祉課長

予防事業として、倒れんジャー教室、いなみシニア学園、認知症予防教室と、高齢者自ら生きがいを持って活動を行う一次予防事業に重点的取り組み、参加者の拡大や自主活動への支援を行ってきました。

**質問** 厚生労働省は、

地域の認知症に係る地域医療体制の中核的な役割を担う医師として、認知症サポート医の養成を進めています、今後サポート医と保健師の連携体制の構築が求められてくると考えます。

保健師の年齢構想上の課題が生じてくるのでは

ないか。

**答弁** 住民福祉課長

専門職に特化し過ぎると、行政全般のことが見えにくくなります。一般職を基本とし、専門的な知識、能力を生かしていくことが印南町の場合には適正な人事養成方針ではないかと考え

ます。今後、人事担当部署と十分協議を進め専門職の養成に当たりたいと考えます。

**質問** 1期4年間でのマニユフェスト「福祉の充

実」の自己評価及び総括をお聞き致します。

**答弁** 町長

自己評価については、私自身が評価するべきものではないと考えています。

また、総括については、立ちどまることなく、常に住民の声に耳を傾け、現状に満足せず、努力することに努めていきたい。



## マニユフェスト「教育の充実」を問う

**質問** 学力向上の具体的な取り組みをお聞き致します。

**答弁** 教育長

学習指導要領では子どもたちの現状を踏ま

え、生きる力を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力、判断力、表現力などの育成を重視しています。

**質問** 印南町のホームページでの「全国学力・学習状況調査」公表の方法について、現代はトツページから「おしらせ」

↓「小中学校」↓「各学校の紹介」に入り一番下段まで下りないと状況調査公表に至らないが、もつとダイレクトに入ることではないのか。

**答弁** 教育長

貴重なご意見を頂きましたので、総合的に検討します。





# 一般質問

## 産業の振興について

藤藪 利広 議員

**質問** 印南町農産物のブランド化、農業の高度化を図り収入アップにつながる農業の確立を目指しますが、はなされてい

**答弁** 産業課長

施設等に対する補助に積極的に支援をしてきました。しかし第2、第3のブランド化商品の開発等にJAと協力しながら進めるとともに、安全安心な農産物を安定的に供給できるように今後も支援していきたい。

**質問** 既存企業の発展、積極的な、企業誘致活動働く場所の確保について、4年間の成果をお聞

**答弁** 企画政策課長

既存企業の町外移転は、本町にとつても税収や雇用対策など喫緊の課題と受け止め、既存の企業支援を強化してまいりました。

その結果、工場の増設に伴い2度にわたり県を交え立地協定を締結し、今後3年間で新規地元雇用者を20人正社員で雇用する計画となっております。

**質問** 商工業の推進を図り、町の発展に繋げていくと話されていましたが、どのように繋がってきたのかお聞きします。

**答弁** 産業課長

商工会を中心とし各種団体と、連携を図りながら地域販売物のPRや新たな販路拡大に取

り取り組んできました。

今年度はプレミアム商品券の発売等、商工業の活性化に、大きく寄与したと思っています。今後も30万人以上訪れる印南サービスエリアを活用したPR活動や、地域のイベント等を通じPRしていきたい。

**質問** プレミアム商品券は、1人1万円で5口までと言う事でしたが、高額購入はなつたのですか。

**答弁** 産業課長

当然5万円が上限で、高額を購入できたと言う事実を把握していません。

ただ翌日については、当初午前9時から販売する予定でしたが、9時前に数十名が並ばれてい



ました。残りの枚数を数え、それ以上並んでいたいても渡せないと言うことでした。

**答弁** 産業課長

今後も本町の基幹産業が中心であると考えています。

**質問** そういう事例はなかったと言う事で理解すればいいのですか。

**答弁** 産業課長

高額購入はなかつたと言うことです。

**質問** 今後の印南町をどのような町にしたいと考えていますか。

**答弁** 町長

課長が答弁したことに集約されています。





# 委員会活動報告

## 総務産建常任委員会報告

◎藤本 良昭 榎本 一平 野村 正明  
 ○中島 洋 岡本 庄三 堀口 晴生  
 ◎委員長  
 ○副委員長

日時 11月13日

場所 議会会議室

「マイナンバー制度」について、執行部（総務課）から説明を受けました。

### 「マイナンバー制度」の概要

■ 国民一人一人に割り当てられる12桁の番号（個人番号）制度です。

■ 平成28年1月から税や社会保障等に関する各種、手続きに必要な書類・従業員のマイナンバーを記載することが求められています。

■ 平成28年1月から初回手続きは無料。（再

発行には800円が必要）

■ カードの表面には顔写真・住所・氏名・電話番号などが載っており、裏面にはマイナンバーが載っているのが公的身分証明書になります。

■ 民間での利用について、裏面のマイナンバーを提示する必要はありません。

■ 法人には一法人一つの法人番号（13桁）が指定されます。

■ 平成29年からは銀行の預金口座も対象になります。

### 主な質疑

Q 税理士に確定申告等を頼む時、カード自体を渡さなければいけないか。

A 個人情報漏れるかもしれないので、カードは渡してはいけません。

Q 最近の個人情報が漏れることが多い中、その心配はないですか。

A 電算の方でセキュリティは万全の対策をとっています。

Q 連携による漏れの心配はないですか。

A 県の扱っている福祉事務、学校事務、税務課の職員

Q ですが、守秘義務があるのに漏れる事はありませんか。

A すでに発行している住民基本カードと今回のマイナンバーは同じではないのか。

A 住基番号は制度として残ります。住基番号と個人番号は別物です。

Q アメリカでは「なりすまし」被害が多いと聞いていますが、心配はありませんか。

A 日本では今後、本人確認を徹底していきます。



### （委員長所見）

マイナンバー制度の詳細部分については、まだ未確定な部分があります。平成29年7月から本格スタートするこの制度は、社会保障関係の手続きや税務関係の手続き・災害関係等に役立つ制度として、より充実が図られるものと思います。



総務産建常任委員会

# 委員会活動報告

## 文教厚生常任委員会報告

◎前田 憲男 藤薮 利広 村上 誠八  
◎杉谷 孝祥 井上 孝夫 玉置 克彦  
◎委員長  
◎副委員長

日時 11月19日

場所 議会会議室

今回、教育長、教育課長から印南町の学校の現状について説明を受けました。

### 主な質疑

Q 教育長在職期間中いじめは、ありましたか。

A 数件ありました。が、ほとんど解決しています。

Q アレルギーマスクの状況は。

A アレルギーマスクの子供が多いが、給食は除去することで対応しています。

Q 4小への防犯カメラ設置について。

A メリット、デメリットを考慮して検討していきたい。

Q 運動会の5月開催について。

A メリットは、暑さ対策が必要なく、また年間の行事のバランスが良いこと。デメリットは、新1年生が慣れていないことです。

Q 体罰についての教育長のとらえ方は。

A 体罰ではなく言葉で指導するように対応しています。

Q 学力テストの公表について。

A 一番わかりやすいのは平均点ですが、控えています。

Q 学力テストの点数だけでは、子供の力は、測れないのでは。

A 確かに測れないと考えています。

Q クーラー設置後の夏休み縮小などの取り組みは。

A 今のところ考えていません。4校設置後の課題ではありますが、夏休みは家で生活することも必要と考えます。

Q アイパッドの4校配置について、早急に進めるべきではないか。

A 予算の都合もありますが、検討していきたい。

Q 最近の子供は、保育園から小学校1年生になつて順応が遅くなつていないかと聞きますが。

A そのようには、認識していません。

### (委員長所見)

今は、町内の学校にいじめがないということを感じて安心しました。

しかし、いじめというものは、大人には分かりにくいものです。

また自殺や大きな犯罪の裏には、いじめがあると聞きます。

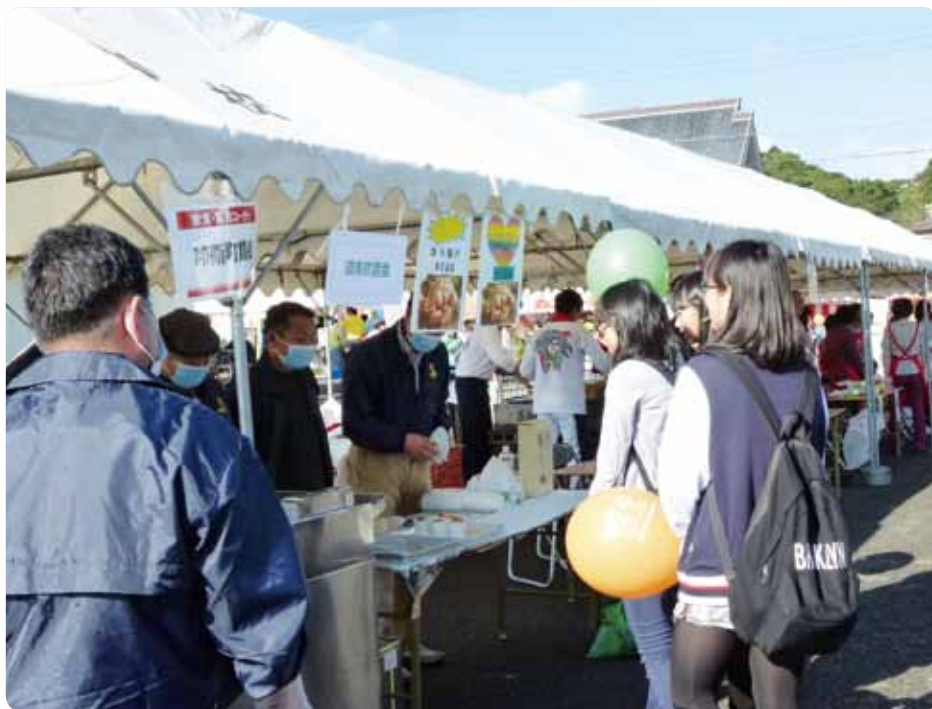
この広報紙を読んでくれていらっしゃる父さんお母さん方、「クラスの中にいじめで苦しんでいる子供がいらないか」今一度、子供たちと向き合ってください。



# 議会の行事

10月27日国民宿舎紀州路みなべにて、講師を招き「日高郡町議会全議員研修会」を開催しました。

議員のあり方のベースとなる研修でしたが、この研修での学びをもとに、議会運営のあり方を議会運営委員会及び全員協議会で話し合い、一般質問の時間制限を1人1時間30分と決めました。



11月15日「印南かえるのフェスティバル」

今年からは揚げとフライドポテトを出店しました。「アツアツやで〜♡」「安いで〜！」……から揚げは大人気！

お陰様で完売できました。ありがとうございました。





# 印南町文化協会 水墨画クラブ・百人一首に親しむ会

## 水墨画クラブ

クラブの歴史は古く、昭和48年開講。南部町の画家・浜田龍夫先生の指導で、会員は要海正夫、岩本荷水、谷口敏雄、中田宇南、村上昌三(いずれも故人)他、当時、坂下も末席に名を連ねておりました。

その後、指導者が谷口敏雄、平尾一巳と変わり、平尾氏が京都に移住したため、朝木善一郎がサークル長となり、自主学習を続けてきましたが、平成18年から、宮本浩子がサークル長となり、月一回の学習で和やかに進めています。

(敬称略)

紆余曲折を経て、継続できたのは、会員の努力の結果と思います。(坂下記)

サークル長 宮本 浩子  
世話人 朝木善一郎  
龍田 信一



月一回公民会でのおけいこの会員

何かとあわただしい生活に追われ、心のゆとりを失いがちな日々にあつて、身近な風景や道端の草花に季節のうつろいを感じながら、少しでもその美しさや情感を表現出来れば…と筆を動かす時間は、何物にも代え難い貴重なものです。  
皆様も気楽に筆を動かして見ませんか。

(宮本浩子)

## 百人一首(古文書)に親しむ会

この会は、ふるさと歴史学習室で印南の歴史を学習している一環で、後鳥羽上皇が切目王子で歌会をした時の11人の歌が国宝として京都の西本願寺に所蔵され「切目懐紙」と言われていますが、「切目懐紙」歌人の5人が百人一首の歌人と言うことで学習を始めました。

併せて、ふるさとの古文書の中から、初歩の部分を読んだり、時には切目王子や、高串の妙見さんを尋ねたりと現地学習を楽しんでいます。  
けっこう頭の体操になってます！

学習室担当 坂下 緋美  
世話人 朝間 英子



高串の妙見さんを訪ねる会員

## あてがき

新年あけましておめでとう、ございます。町民の皆様には、心も新たに新年をお迎えのことと存じます。

さて、新年早々の行事である消防団訓練はじめて式や成人式を拜見させていただきました。町民の皆様のおかげで、元氣あふれる姿に感動いたしました。私たちが広報特別委員会も住民の皆様のご意見、ご感想などを取り入れ、読みやすい、分かりやすい広報紙づくりに努力し、1年頑張つてまいります。

どうぞ皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

メールアドレス

gikai@town.wakayama-

inami.lg.jp

TEL 42-1739

FAX 42-8055

### 議会広報特別委員会

委員長 榎本 一平  
副委員長 中島 洋  
委員 藤本 良昭  
委員 藤本 利昭  
委員 井上 孝夫  
委員 前田 憲男